

# 第1章 令和7年度 県政運営の総括

令和7年度の県政運営について、「強じん\*な美し国\*ビジョンみえ」及び「みえ元気プラン」の政策体系に沿って、16の政策ごとに総括しています。

また、「第4回みえ県民1万人アンケート」における生活の分野別満足度のうち、各政策に係る結果の概要を紹介しています（生活の満足度に関するアンケート結果の全体については、17ページから19ページを参照してください）。

## 政策1 防災・減災、県土の強靱化

津波避難施設等の整備を行う市町への支援や、避難所の環境改善、流域治水、土砂災害や高潮・地震・津波対策、緊急輸送道路の機能確保などに取り組みました。

南海トラフ地震の切迫性が高まり、風水害が激甚化・頻発化していることから、備えをさらに万全にしていく必要があります。

県民のいのちを守ることは県政の最重要課題であり、いつ起こってもおかしくない大規模災害に備えるため、新たな南海トラフ地震被害想定をふまえ、「三重県南海トラフ地震対策推進条例（仮称）」の制定に向けた検討や、「三重県広域受援計画」の改定等を進めるとともに、孤立地域対策やスフィア基準をふまえた避難所の環境改善などのソフト面、緊急輸送道路の機能確保などのハード面の両面から防災・減災の取組を強化していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
1-1 災害対応力の充実・強化	B	B	A	B	105
1-2 地域防災力の向上	A	A	A	A	110
1-3 災害に強い県土づくり	A	A	A	A	115

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「自然災害への備え」という項目に対しては、「満足している層」の割合が9.9%、「満足していない層」の割合が31.3%となり、それぞれ第3回に比べて0.4ポイントの減少、0.2ポイントの増加となりました。

## 政策2 医療・介護・健康

医師の確保や偏在解消、外国人介護人材の有望な送出国との関係構築、「三重とこわか健康マイレージ事業」を通じた健康づくりなどに取り組みました。

高齢化が進展するなか、介護人材の定着・確保を促進するため、介護職員の処

遇改善や外国人介護人材の受入環境の整備などの取組を推進していく必要があります。

地域における医療と介護の総合的な確保を図るため、医療・介護分野の人材確保に取り組むとともに、地域の課題に対応できる医療提供体制や高齢化社会の進展に対応できる介護体制の整備等を推進していきます。また、健康寿命の延伸や生活習慣病等のリスクの軽減に向けて、健康づくりの取組を推進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
2-1 地域医療提供体制の確保	B	B	B	B	120
2-2 感染症対策の推進	B	B	B	B	127
2-3 介護の基盤整備と人材確保	B	B	B	B	130
2-4 健康づくりの推進	A	B	B	B	134

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「健康状態」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 28.4%、「満足していない層」の割合が 26.2%となり、それぞれ第3回に比べて 0.5 ポイントの増加、0.9 ポイントの増加となりました。

同じく「医療サービス」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 27.2%、「満足していない層」の割合が 17.9%となり、それぞれ第3回に比べて 3.3 ポイントの増加、2.6 ポイントの減少となりました。

同じく「介護・福祉サービスの利用しやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 10.7%、「満足していない層」の割合が 17.5%となり、それぞれ第3回に比べて 2.0 ポイントの増加、0.9 ポイントの減少となりました。

### 政策3 暮らしの安全

特殊詐欺の被害防止に向けた各種対策を推進したほか、街頭防犯カメラ更新整備、自転車ヘルメットの着用促進、悪質商法の被害防止の注意喚起などに取り組みました。

刑法犯認知件数は減少しましたが、特殊詐欺認知件数は増加しました。身のまわりの安全に満足していない県民の割合も増加していることから、更なる取組が必要です。

県民の安全・安心の確保に向けて、街頭防犯カメラ更新整備を推進するとともに、防犯カメラ画像等の分析を行う高度 A I \*画像分析システムの更なる有効活用に努めるなど、犯罪の未然防止、早期検挙に取り組めます。また、消費者トラブルの未然防止・拡大防止や、将来的な血液製剤の安定供給に向けて若年層への献

血の啓発にも引き続き取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
3-1 犯罪に強いまちづくり	B	C	C	C	138
3-2 交通安全対策の推進	B	B	B	C	142
3-3 消費生活の安全確保	B	B	B	B	145
3-4 食の安全・安心と暮らしの衛生の確保	B	B	B	B	148

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「交通安全・防犯など身のまわりの安全」という項目に対しては、「満足している層」の割合が13.5%、「満足していない層」の割合が27.9%となり、それぞれ第3回に比べて1.6ポイントの増加、2.9ポイントの減少となりました。

## 政策4 環境

事業者等と連携した「みえデコ活」推進や、プラスチックの高度なりサイクルの促進、身近な自然環境の重要性に関する普及啓発などに取り組みました。

県域からの温室効果ガス\*排出量など目標に届いていない指標もあることから、引き続き、さまざまな主体と連携して着実に取り組んでいく必要があります。

脱炭素\*社会の実現に向けた温室効果ガス削減の取組や、プラスチックごみ対策等の社会的課題の解決に資する資源循環の取組を進めるとともに、広域で連携した海洋ごみ対策などを通じて環境保全に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
4-1 脱炭素社会の実現	A	B	B	B	152
4-2 循環型社会の構築	B	B	B	B	156
4-3 自然環境の保全と活用	B	A	B	A	160
4-4 生活環境の保全	B	B	B	B	163

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「身のまわりの自然環境」という項目に対しては、「満足している層」の割合が35.8%、「満足していない層」の割合が14.1%となり、それぞれ第3回に比べて1.0ポイントの増加、0.5ポイントの減少となりました。

## 政策5 観光・魅力発信

三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光の推進、旅行者のニーズに応じた受入環境の充実、国内外におけるプロモーションを通じて本県への誘客を図る取組などを進めました。

県内の延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数はいずれも増加した一方で、目標には達しておらず、また県内の平均宿泊日数においては令和6年度の実績値を下回ったことから、取組を強化していく必要があります。

これらをふまえ、インバウンド\*誘客を展開するための「みえインバウンド誘客計画(仮称)」の策定や、宿泊施設の和洋室化への支援などの受入環境のさらなる充実のほか、第63回神宮式年遷宮を見据えたプロモーションなどに取り組んでいきます。

また、首都圏営業拠点「三重テラス」の魅力発信の強化や新たな価値創出につながる人材育成に引き続き取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
5-1 持続可能な観光地づくり	B	B	B	B	166
5-2 戦略的な観光誘客	C	C	C	B	169
5-3 三重の魅力発信	A	A	A	A	172

## 政策6 農林水産業

農林水産業の生産体制・生産基盤の整備や、人材の確保・育成、県産農林水産物の販路拡大、農山漁村の振興などに取り組みました。

農林漁業者の減少や高齢化の進行、気候変動による生産環境の変化、資材価格の高止まり、国内マーケットの縮小など、農林水産業を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、こうした複合的な課題に的確に対応していく必要があります。

農林水産業を持続的に成長させるため、気候変動対応、スマート技術等の実装による生産性向上、多様な担い手の確保と育成、輸出を含む多角的な県産農林水産物の販路拡大、「森業\*」・「海業\*」など地域資源を活用した農山漁村の活性化を進めていきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
6-1 農業の振興	B	A	A	A	176
6-2 林業の振興と森林づくり	B	B	B	B	182
6-3 水産業の振興	B	B	B	B	186
6-4 農山漁村の振興	A	A	A	A	191

## 政策7 産業振興

近年の不安定な社会経済情勢に対応していくべく、「三重県版経営向上計画」に則り、中小企業・小規模企業における経営支援を進めたほか、ものづくり産業の経営基盤の強化に取り組みました。

また付加価値創出に向けた企業誘致の推進、アセアン地域を中心とした海外ビジネス展開の促進などを実施しました。

さらに県内への半導体関連産業の投資促進に向けて方針の策定や産学官連携による人材育成などに取り組むとともに、県内成長産業の育成、四日市コンビナートの競争力強化や新エネルギーの導入促進に引き続き取り組んでいきます。概ね目標値に達している一方で、事業継続計画（BCP\*）の策定件数は目標に依然として達しておらず、今後は策定のメリットを記載した県独自のツールを活用するなどして、自然災害等の備えを促進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
7-1 中小企業・小規模企業の振興	B	B	B	B	194
7-2 ものづくり産業の振興	A	A	A	A	197
7-3 企業誘致の推進と県内再投資の促進	A	A	A	A	201
7-4 国際展開の推進	A	A	A	A	204

## 政策8 人材の育成・確保

就労支援サービス「おしごと広場みえ」の提供や高等教育機関との連携等による若者の県内定着の促進などに取り組みました。また、多様で柔軟な働き方の推進については、アドバイザーの派遣や「みえの働き方改革推進企業」の登録・表彰制度などに取り組みました。

近年、県内企業の人材確保は非常に厳しい状況が続いており、職場環境の整備

や定着促進に向けた取組を進める必要があります。

「三重県カスタマーハラスメント防止条例（仮称）」の制定や、高齢者や外国人など雇用に取り組む企業への支援など、県内企業の働きやすい職場環境の整備を促進していきます。また、民間企業における障がい者雇用を促進するべく、見学会の実施などに取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
8-1 若者の就労支援・ 県内定着促進	B	B	B	B	206
8-2 多様で柔軟な働き 方の推進	A	A	B	B	209

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「仕事のやりがいや生活とのバランス」という項目に対しては、「満足している層」の割合が21.9%、「満足していない層」の割合が22.2%となり、それぞれ第3回に比べて0.9ポイントの増加、2.8ポイントの減少となりました。

## 政策9 地域づくり

「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」などを通して、市町と連携して地域課題の解決に向けた取組を進めました。また、県独自の移住フェアを新たに東京でも開催するなど、三重暮らしの魅力発信に取り組むとともに、南部地域で働くことや暮らすことの魅力を体感してもらうツアー等の実施や熊野古道伊勢路の保全と活用に向けた取組等を進めました。

引き続き、持続可能な地域コミュニティづくりや、移住者数の増加に向けた取組、南部地域及び東紀州地域の活性化などが必要です。

移住希望者の相談体制の整備及び受入態勢の充実や、南部地域を内外から支える人づくり、熊野古道伊勢路をはじめとする東紀州地域の魅力発信などに取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
9-1 市町との連携による地域活性化	A	A	A	A	212
9-2 移住の促進	A	A	A	A	215
9-3 南部地域の活性化	B	B	B	B	218
9-4 東紀州地域の活性化	B	B	B	B	220

## 政策 10 デジタル社会の推進

「みえDX\*センター」での相談支援やDX人材を育成する研修の実施、「みえスタートアップ\*支援プラットフォーム」における事業共創の支援、行政手続のデジタル化と電子納付の拡充、市町DXの促進などに取り組みました。

県内事業者等におけるDXやAI活用の促進、県外スタートアップとの連携による新事業創出、行政サービスの利便性向上、市町における行政手続のデジタル化について、さらなる取組を進めていく必要があります。

事業者等におけるDX導入やAI人材の育成支援を進めるとともに、県外の事業共創施設と連携し、スタートアップの活用による新製品・新サービスの開発や実証実験の支援に取り組みます。また、県民の皆さんの利便性をさらに向上させるため、電子申請できる手続を拡充するとともに、デジタル技術を活用した窓口業務の改善を進めます。さらに、市町のDXを支援する専門人材派遣やシステム標準化への対応支援など、きめ細かな伴走支援を進めていきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
10-1 社会におけるDXの推進	A	A	A	A	223
10-2 行政サービスのDX推進	A	B	A	A	225

## 政策 11 交通・暮らしの基盤

幹線道路の整備や、良好な道路空間の形成、港湾施設の老朽化対策、花とみどりの活用促進、住宅・建築物の耐震化の促進などに取り組みました。また、地域内交通ネットワークの構築・強化に向けた市町の取組への支援や、鉄道・バス路線の維持・活性化などに取り組みました。

引き続き、道路・港湾や都市基盤の整備推進のほか、持続可能な公共交通の確保・充実に向けた一層の取組が必要です。

地震災害等に対するまちの安全性確保のために木造住宅の耐震化に向けた周知・啓発や、水の安定供給のために主要施設の耐震化、適切な維持管理などにより、暮らしの基盤を確保していきます。また、交通空白の解消に向けて、新たな公共ライドシェア\*モデルの構築に向けた実証や市町に対する伴走支援の強化、交通事業者と連携した運転士確保の取組等を進めていきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
11-1 道路・港湾整備の推進	A	A	A	A	228
11-2 公共交通の確保・充実	A	A	A	A	234
11-3 安全で快適な住まいまちづくり	A	A	A	A	237
11-4 水の安定供給と土地の適正な利用	A	A	A	A	241

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「移動手段、交通の便利さ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が19.1%、「満足していない層」の割合が49.0%となり、それぞれ第3回に比べて1.4ポイントの増加、1.1ポイントの減少となりました。

## 政策12 人権・ダイバーシティ

人権啓発イベントの実施や、臨床心理士等のアドバイザーを活用した人権相談への対応、企業における女性が活躍できる環境整備の取組促進、外国人住民の安全で安心な生活環境づくりなどに取り組みました。

引き続き、誰もが個性や能力を発揮し参画・活躍できる社会づくりを推進することが必要です。

人権が尊重される社会を実現するため、さまざまな主体と連携した人権啓発を推進するとともに、「部落差別解消条例(仮称)」の制定の検討を進めます。また、ジェンダーギャップの背景にあるアンコンシャス・バイアスを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる環境づくりを進めるとともに、令和7年度に制定した「三重県性暴力の根絶をめざす条例」に基づく推進計画の策定を進め、性暴力の根絶をめざす施策を総合的かつ効果的に推進していきます。さらに、日本人住民と外国人住民が共に安全、安心に暮らすことができる社会を実現するため、外国人住民が日本語を学べる環境の整備や相談体制の充実等に取り組みます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
12-1 人権が尊重される社会づくり	B	A	A	A	244
12-2 ダイバーシティと女性活躍の推進	B	A	A	A	248
12-3 多文化共生の推進	A	A	A	A	252

### 政策13 福祉

地域社会で生きづらさを抱える人への支援や、三重おもいやり駐車場利用証制度の運用、農林水産業における障がい者の就労機会の拡大などに取り組むとともに、新たに「ひきこもりピアサポートセンターみえ」を開設するなど、ひきこもり支援の充実に向けた取組を進めました。

アドバイザー派遣等により、多機関協働による包括的な相談支援体制が整備されている市町数が増加したものの、目標を下回っているほか、障がい者施設において職員による虐待事案が発生するなど課題が残っています。

誰もが社会から孤立することなく、希望を持って安心して暮らせるよう、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」、「第二期三重県地域福祉支援計画」、「第二期三重県ひきこもり支援推進計画」に基づく取組を引き続き進めるとともに、ひきこもりに対する支援、障がい者虐待の未然防止や迅速で適切な対応を行うための研修の実施、虐待事案の発生した施設等に対して改善に向けた指導に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
13-1 地域福祉の推進	B	B	B	B	255
13-2 障がい者福祉の推進	B	B	B	A	259

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「介護・福祉サービスの利用しやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が10.7%、「満足していない層」の割合が17.5%となり、それぞれ第3回に比べて2.0ポイントの増加、0.9ポイントの減少となりました。

同じく「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」という項目に対しては、「満足している層」の割合が18.9%、「満足していない層」の割合が15.3%となり、それぞれ第3回に比べて2.5ポイントの増加、1.2ポイントの減少となりました。

## 政策 14 教育

自己肯定感の涵養の推進、学習環境の確立に向けたモデル校における好事例の構築及び水平展開、不登校の状況にある児童生徒への支援、学校問題ADRの導入促進、学びの多様化への対応強化、教職員の資質向上と働き方改革の推進などに取り組みました。

一方で、目標を持って学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合や学校生活に安心を感じている子どもたちの割合が目標値を下回っており、また教員不足といった喫緊の課題もあることから、引き続き取組を強化していく必要があります。

子どもたちの自己肯定感を育む授業づくり・学校づくり、キャリア教育\*の充実、一人ひとりに応じた切れ目のない教育を推進するとともに、これらの取組を支える教職員の資質向上のほか、教員の人材確保対策及びこれに資する魅力発信などに取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
14-1 未来の礎となる力の育成	B	B	B	B	264
14-2 未来を創造し社会の担い手となる力の育成	B	B	B	B	269
14-3 特別支援教育の推進	A	A	A	A	274
14-4 いじめや暴力のない学びの場づくり	B	B	B	B	277
14-5 誰もが安心して学べる教育の推進	B	B	B	B	281
14-6 学びを支える教育環境の整備	B	B	B	B	286

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「子どもの教育」という項目に対しては、「満足している層」の割合が9.0%、「満足していない層」の割合が14.1%となり、それぞれ第3回に比べて0.8ポイントの減少、2.6ポイントの減少となりました。

## 政策 15 子ども

市町の子ども・子育て支援事業の充実に向けた補助、保育士等キャリアアップ研修の実施、AIを活用したマッチングシステムの導入による出会いの機会の拡充、みえ出逢いサポートセンターによる情報発信などを実施しました。また、令和5年度の児童死亡事例を受けた検証委員会の検証結果もふまえて、「子どもを虐待から守る条例」を改正し、改正条例に基づく推進計画を策定するなど、児童虐待対応力の強化に取り組みました。

保育所等や放課後児童クラブの待機児童の発生や児童養護施設等の多機能化の進捗などについて課題が残っていることから、取組を一層強化していく必要があります。

「三重県子ども条例」および「ありのままみえっこプラン」に基づき、全ての子どもが豊かに育ち、将来にわたって幸せな状態で生活することができる三重をめざし、取組を推進していきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
15-1 子どもが豊かに育つ環境づくり	A	A	A	A	292
15-2 幼児教育・保育の充実	C	C	C	C	297
15-3 児童虐待の防止と社会的養育の推進	B	D	B	B	300
15-4 結婚・妊娠・出産の支援	A	A	A	A	303

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「子育てのしやすさ」という項目に対しては、「満足している層」の割合が9.8%、「満足していない層」の割合が14.3%となり、それぞれ第3回に比べて0.3ポイントの増加、2.2ポイントの減少となりました。

## 政策 16 文化・スポーツ

各県立文化施設における魅力的な展覧会等による鑑賞等の機会や高等教育機関等との連携などを通じて多様なテーマにおける学習機会を提供しました。また、将来の競技スポーツを担う新たな選手の発掘や、効果的な選手・チームの強化活動の支援、県営スポーツ施設の整備などに取り組みました。

今後も県民の皆さんが文化にふれ親しむ機会の充実を図るとともに、生涯を通

じて学べる機会を充実させることが必要です。「三重県文化振興計画」に基づき、県民の皆さんの文化に対する関心及び理解の醸成や子どもたちの文化活動の充実などにより、心豊かに活力ある三重の実現をめざします。

スポーツについては、競技力の向上とともに、県民の誰もがスポーツにふれ親しむことができる環境づくりが必要です。引き続き、選手の発掘・育成、県民のスポーツへの関心や気運の醸成、計画的な施設整備・改修に取り組んでいきます。

政策を構成する施策	施策の総合評価				記載ページ
	4年度	5年度	6年度	7年度	
16-1 文化と生涯学習の振興	A	A	A	A	308
16-2 競技スポーツの推進	B	B	B	A	312
16-3 地域スポーツと障がい者スポーツの推進	B	B	B	B	315

生活の満足度(第4回みえ県民1万人アンケート)のうち「文化・スポーツなどの趣味、生きがい」という項目に対しては、「満足している層」の割合が 22.2%、「満足していない層」の割合が 16.5%となり、それぞれ第3回に比べて 0.1 ポイントの減少、1.1 ポイントの減少となりました。

## <参考> 県民の皆さんの「生活の満足度」について

～「第4回みえ県民1万人アンケート」の結果より～

県では、平成10（1998）年度から県民1万人を対象とした意識調査を開始し、平成14（2002）年度からは毎年度実施しています。

県民の皆さんのご意見をお聴きする貴重な機会であり、「生活の満足度」などを把握し、県政運営の推進に活用することとしています。

### <「第4回みえ県民1万人アンケート」の調査概要>

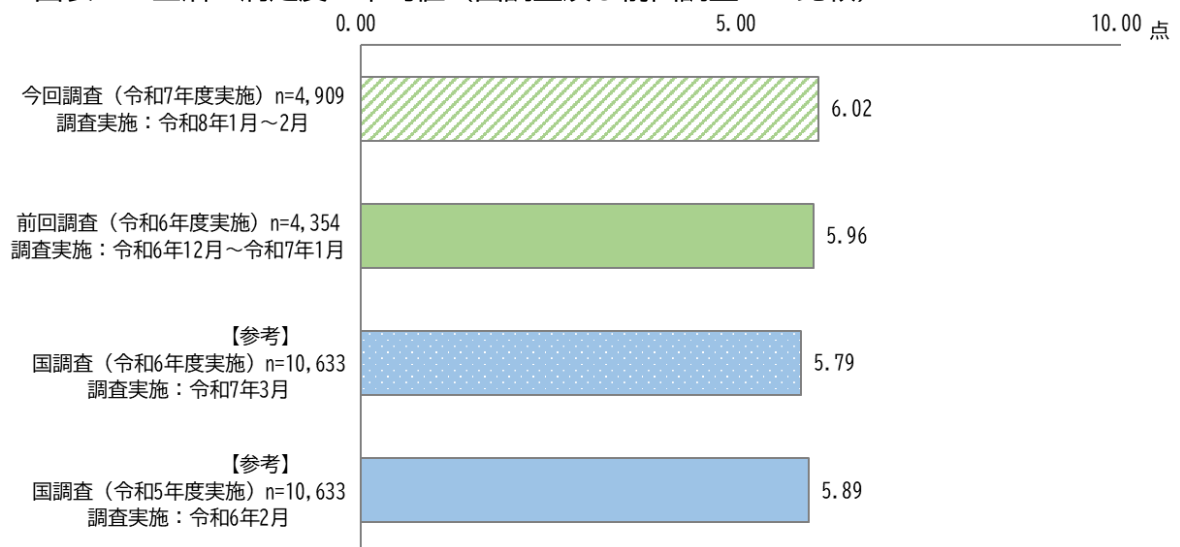
- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者（選挙人名簿に記載の者）
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法  
標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当て
- (5) 調査方法 郵送による発送、郵送・インターネットによる回収
- (6) 調査期間 令和8年1月～令和8年2月
- (7) 有効回答数 5,130人（有効回答率51.3%）

### <「第4回みえ県民1万人アンケート」の調査結果>

#### 1 現在の生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は6.02点で、第3回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）より0.06点高くなっています。（図表1）

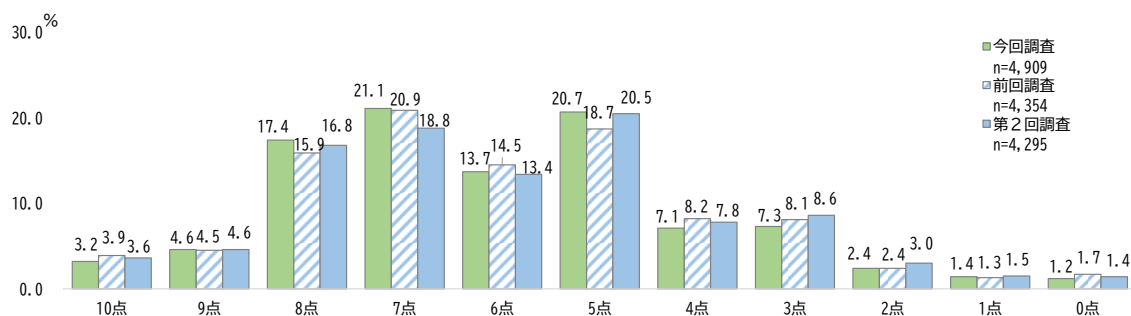
図表1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち5,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5点」が20.7%、「8点」が17.4%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「5点」「8点」の割合が上昇し、「4点」や「3点」の割合が低下しています。（図表2）

図表2 生活の満足度の分布（過去調査との比較）



## 2 14分野別の満足度

- 生活の幅広い範囲について包括的に評価できる総合的な主観満足度とは別に、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる 14 分野別の満足度を調べ、生活の満足度を多角的に把握します。（図表3）

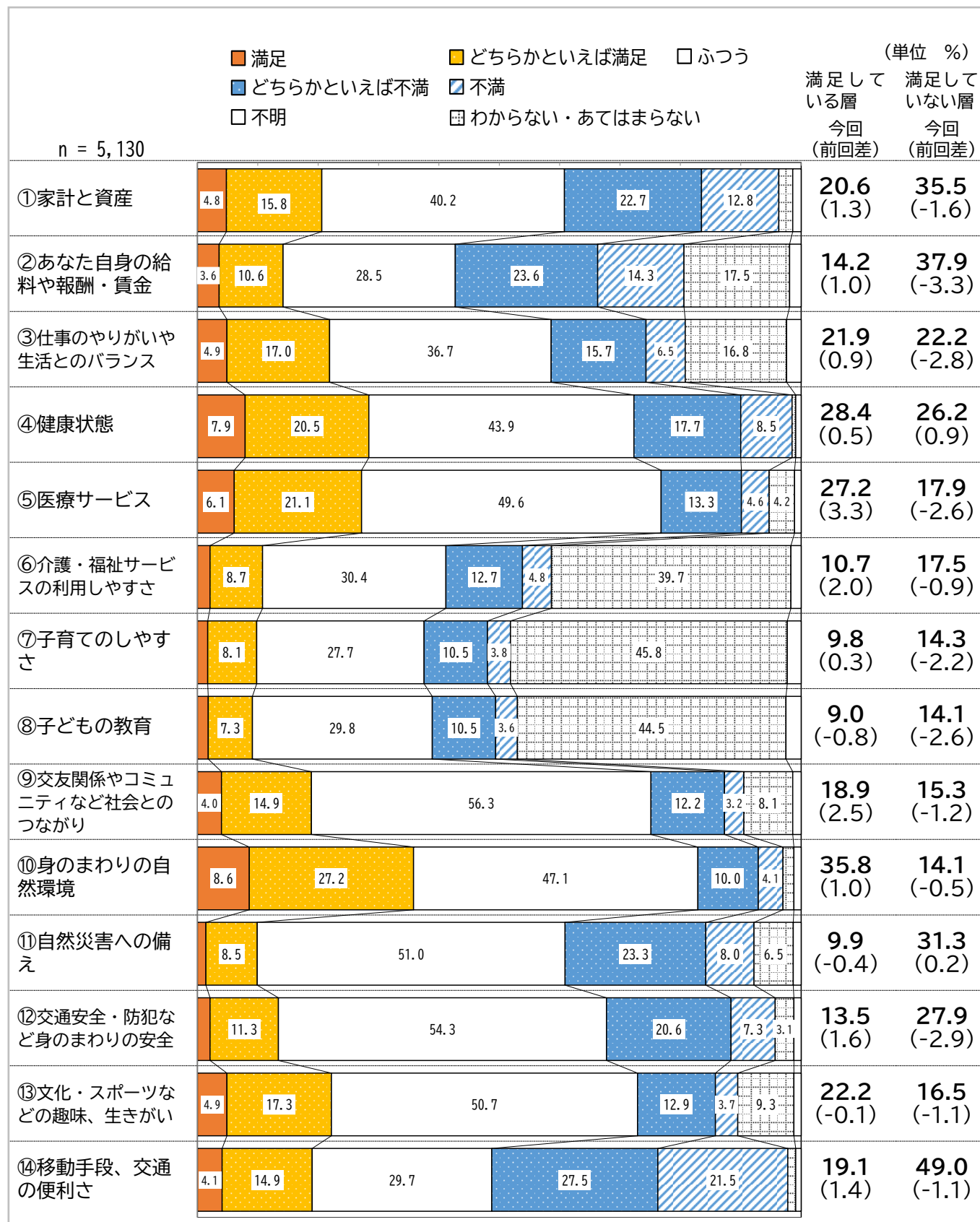
### 【「満足している層」の割合】

- 「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が35.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」（28.4%）、「⑤医療サービス」（27.2%）の順となっています。

### 【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が49.0%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」（37.9%）、「①家計と資産」（35.5%）の順となっています。

図表3 14分野別の満足度（一覧）



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出